

活動報告書  
よこはまワンダーキッズ ワンダーコース よつばクラブ  
第8回 「～みんなの心で～ 8kmチャレンジハイク」

実施日時:2019年2月24日(日)

会場:二俣川駅～白根地区センター(旭区)

<活動のねらい>

●仲間と一緒に「楽しい!」と「できた!」  
⇒1年間過ごした班の“特別感”や  
“信頼感”を大切にし、「歩けた!」  
という自信を持ち帰る。

<プログラムの構成要素>

自然に対する好奇心 ★★★  
創意工夫を楽しむ心 ★★★  
仲間とやってみようとする心 ★★★



電車の中で、「どういふ8kmにしたい?」というキャンプカウンセラーの問いに「みんなで笑顔でゴールする!」と答えた子がいました。8kmという想像できない距離に不安がありながらも、この1年間過ごした班の仲間たちと歩くことが楽しみなようで、スタート前からワクワクした様子でした。



準備体操や作戦会議をして、スタート!始めに行く公園は自然がいっぱい。枝や葉っぱ、どんぐり、クルミなど、すでに両手にはお気に入りのもので溢れていました。自分よりも長い枝は、「長いから周りも気を付けようね。」とみんなで気を付けながら運んでいました。



そして4km地点の昼食場所。まだまだ元気いっぱい、笑顔で拾ったものや遊んできたことを聞かせてくれました。残りの道のりも楽しみなようで、地図を見ながら「こっちかな?」「次はあっちだね!」と話し、勢いよく午後も歩き始めます。



朽ちた丸太を覗き込み、「なんか光ってる!」「虫!?!」「クモの巣じゃない?」と班の全員で興味津々。「揺らしたら出てくるかな?」と好奇心が発揮され、見飽きるまで観察していました。



手にはたくさんのお土産を持って、全員満面の笑みでゴール! その様子から楽しんできたことが伝わってきました。歩いている途中には、「みんなで地図見よう!」「次の人に交代しよう!」と仲間を思いやる姿もありました。回を重ねるごとに、自然物に対しても仲間に対しても積極的になり、生き生きとたくましい子どもたちに成長しました。3つの心が存分に発揮された8kmとなり、子どもたちの感性が形として現れた回でした。